

活動報告

団体名	一般社団法人よか隊ネット熊本
活動名	地元熊本の加盟団体へのサポート及び協働推進事業
活動期間	2017年3月～2017年9月
活動の成果	<p>私たちは、「みなし仮設」居住者に対する支援活動を重点的に行なっています。「みなし仮設」の方たちは「地域からの孤立」「支援からの孤立」の状態にあるからです。そのため、「みなし仮設・在宅被災者」向けの交流サロン活動「つながるCafé」の活動を始めました。</p> <p>「みなし仮設」の個別訪問活動を行っている団体と連携して訪問時に「つながるCafé」の案内を行ったり、県内で開催される「交流イベント」に参加して直接的な呼び変えを行ったりして活動の周知を行っています。また、県内で交流を中心とした活動団体と繋がり、県内各地で「つながるCafé」を展開しています。活動を開始して数ヶ月たち、少しずつではありますが、参加される人も増えてきました。交流を求めている被災者の方々は多くいらっしゃるので、その方々が足を運んでもらえるような場作りを行っていくことが今後の課題です。</p> <p>県内で支援活動をする団体も減ってきました。そんな中、団体が集まって課題を共有する場づくりなど、活動自体を支援する事をやってきました。今後も、ネットワークグループ、団体間の活動連携のための仕組みづくりの活動を継続していきたいと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震支援活動へのご寄付に心より感謝致します。熊本地震から時間がたち、緊急的な支援フェーズから次のフェーズに移ってきたと感じています。そんな中で、私たちは「見えなくなる被災」「聞こえなくなる被災者の声」になってきていることを感じています。建物は新しく建ち始め、中心街も賑わいを取り戻しています。しかし、もとの生活を取り戻せず、そしてその声を上げることができない被災者は間違いなく多くいらっしゃいます。</p> <p>私たちは被災者への「交流の場作り」を作ることで、被災者同士のつながり、地域とのつながり、支援との繋がりを作っています。一人でも多くの笑顔を取り戻せるようこれからも活動を行っていきますので、今後共ご支援よろしくお願い致します。</p>

(活動のようす)

